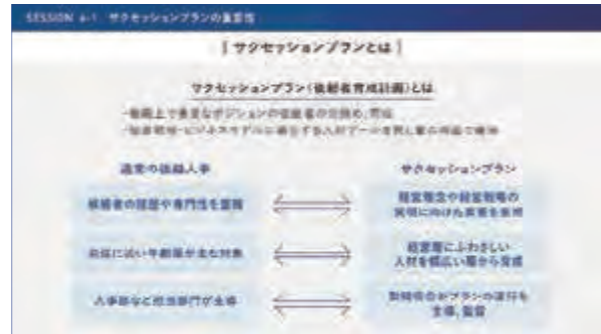


受講対象

- ・会社経営の中核を担う取締役や、取締役候補者、幹部候補者
- ・企業統治を巡る法令、コードへの対応を検討する会社経営者
- ・株主や多様な投資家との対話に問題意識を有する経営幹部
- ・グループ会社や取引先などに役員として出向する幹部社員
- ・取締役会運営にかかわるコーポレート部門の担当者
- ・社外取締役に求められる役割や基礎知識、心構えの習得
- ・会社経営や経営幹部を目指す方々

学習画面イメージ

プログラムでは、動画やスライドによる解説、学習成果を確認するナレッジチェックなど、知識の習得と確認をまじえて学習を進めます。



「取締役会の役割」コース

受講者の声

- 世の中や会社の価値基準が大きく変貌すれば、舵取りの取締役の機能や求められるものも変えていかなければならない。本プログラムは多岐にわたる情報を整理して提供されており、非常に良い教材だと感じた。(50代・執行役員)
- セッション単位でのテストは、理解を深める意味で効果的であった。(60代・取締役)
- 聴き取りやすい声と動画、テーマごとにコンパクトにまとまった内容で、とても視聴しやすかった。内容にちりばめられたキーワードが普段の仕事の中で出現していることに今さらながら気がついた。(60代・取締役)

受講案内

コース名	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役の役割 ・取締役会の役割 ・財務と非財務のリテラシー
受講料	1コース 55,000円 (消費税込み)
受講期間	1コース 3カ月間 (毎月1日、15日開講 1日開講: 翌々月末日開講、15日開講: 翌々々月14日開講)
標準学習時間	1コース 約5時間
受講申し込み先	取締役の役割 https://s.nikkei.com/pegpd1pm 取締役会の役割 https://s.nikkei.com/pegpd2pm 財務と非財務のリテラシー https://s.nikkei.com/pegpd3pm

お問い合わせ先

日経EGP (エグゼクティブ ガバナンス プログラム) オンライン事務局
 E-mail: jnegp@nex.nikkei.co.jp (9:30~17:30 土日祝・国民の休日・年末年始は除く)

会社経営の中核を担う 経営幹部・役員候補の方に

いつでも、どこでも 自分のペースで受講できるマイクロラーニング方式のオンライン学習

日経EGP オンライン エグゼクティブ ガバナンス プログラム

New 「財務と非財務のリテラシー」コース

「取締役の役割」コース

「取締役会の役割」コース

今、経営人材がガバナンスを学ぶべき理由

日本企業の経営は今、かつてない変化に直面しています。気候変動問題をはじめとするサステナビリティ(持続可能性)への対応や、技術やアイデアを生み出す人的資本の確保と投資、アクティビストを含めた多様な投資家との対話など、経営課題は山積しています。しかも、これらの課題に対処を誤れば、会社は深刻なダメージを被りかねません。経営の最前線では「知らなかった」が命取り。リスクを回避し、適切な判断を導くには、経営課題を正しく理解することが重要です。

会社の持続的な成長と企業価値の向上を実現するには、コーポレートガバナンスを強化し、経営力を高めることが求められます。そのためには、個々の取締役が知識やスキルを高め、チームである取締役会が意識と行動を磨き上げる取り組みが欠かせません。

日本経済新聞社が提供する日経EGP(エグゼクティブ・ガバナンス・プログラム)オンラインはフィナンシャル・タイムズ(FT)の協力のもと、経営者に必須の知識から最新の経営課題への対処までを網羅し、経営人材の育成を軸にガバナンス改革を支援するeラーニング教材です。「取締役の役割」、「取締役会の役割」、「財務と非財務のリテラシー」の3コースを設けています。

NEW

「財務と非財務のリテラシー」コース

会社の目指すべき姿を明確にするための 財務と非財務のリテラシーを習得できます。

財務と非財務をどのようなバランスで考慮すべきかを巡って、多くの会社経営者が頭を悩ませています。会社経営では、求められている役割やその変化を念頭に置いたうえで、多様な価値観を尊重しつつ、いかに調和を図るかが重要な課題です。

本講座では、企業会計の実務や資金調達、M&A（合併・買収）など、財務分野を巡る多様な論点を解説。非財務分野では、サステナビリティ（持続可能性）や人的資本といったテーマを詳述します。他のコースとあわせて受講することで、望ましい企業統治や経営手法のあり方を体系的に習得できます。



会社が「目指すべき姿」とは インTRODクション

財務と非財務のリテラシーを駆使し「目指すべき姿」を明確にする取り組みが問われています。



経営における財務の重要性

会計・経理・財務の位置付け／財務部門の役割／企業価値と財務戦略／資本コストの理解



非財務分野が会社を変える

非財務分野の概要と論点／サステナビリティ／人的資本経営／ESGスコア／情報開示の拡充に向けて



企業会計の仕組みと実務

会計制度の成り立ち／主な会計制度の概要／会計原則と財務諸表／企業会計の実務／会社経営を巡る監査



資本市場の活用

株主・投資家に向き合う／効果的な資金調達／信用格付けの重要性／M&A



主要な財務・株価指標

収益性指標／安全性指標／効率性指標／成長性指標／投資家視点の経営指標／重要な株価指標



「取締役の役割」コース

「取締役の役割」コースでは、コーポレートガバナンスにおいて中核的な機能を担う取締役の役割について、法的な位置付けや要件、義務と責任といった基礎知識に加え、規範となるコーポレートガバナンス・コードも分かりやすく、丁寧に解説します。また取締役として必要な心構えや素養、会社経営にまつわる新たな概念への対処のほか、行動で留意すべき点など実践で役立つコンテンツを収録しています。



企業価値を高める取締役の役割

取締役の位置付け／取締役の役割／取締役の要件／社外取締役の役割／上場企業の機関設計



取締役の義務と責任

善管注意義務／忠実義務／競業禁止義務／利益相反取引回避義務／損害賠償責任



コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスの意義と重要性／コーポレートガバナンス・コードの概要／コーポレートガバナンス・コードの5つの基本原則／スチュワードシップ・コードの概要



取締役に必要な心構えと素養

経営全体への目配りと自己認識／高い倫理観／投資家、株式市場の知識／会社経営を巡る新潮流



取締役に求められる行動

取締役の基本的な行動／取締役会に臨む／反対意見の伝え方／社外取締役の行動

「取締役会の役割」コース

「取締役会の役割」コースでは、取締役会の機能や構成、運営について説明します。取締役会が直面する最新の経営課題を紹介し、取締役会に設置する委員会や主要メンバーの役割を詳しく解説します。サクセッションプラン（後継者育成計画）や取締役会の実効性評価の重要性についても説明します。



実効性ある取締役会の運営

取締役会の目的と機能／取締役会の構成／アジェンダセッティング／ステークホルダーとの関わり方



取締役会が向き合うべき課題

人的資本経営への取り組み／従業員エンゲージメント／サステナビリティへの対応／対話と情報発信の拡充／DXガバナンス



委員会と主要メンバーの役割

機関設計と委員会の概要／監査・報酬・指名委員会／取締役会議長／CEO・CFO・業務執行取締役／独立社外取締役



サクセッションプラン

サクセッションプランの重要性／サクセッションプランの進め方／取締役会メンバーのサクセッションプラン／経営トップの選任



取締役会実効性評価

取締役会実効性評価の概要／有用性／実務／手法／結果の開示と改善に向けて

効果的な学習をサポート

日経 EGP (エグゼクティブ ガバナンス プログラム) オンラインの特長

時間や地域、規模の制約がなく、いつでも、どこからでも受講が可能

オンラインで学べるため、都市部だけでなく、地方企業のビジネスパーソンにも均一の受講機会を提供します。社内研修や企業内大学のプログラムとして、まとまった人数での受講も歓迎です。

パソコンやスマートフォンで受講、リモート環境の学びに対応

会社や自宅でじっくりと受講するのはもちろん、スマホを使えば、通勤、取引先訪問といった移動中の空き時間にも気軽に学べます。

1コースあたりの受講は5時間。マイクロラーニングでペースは自由

コースは5つ程度のセッションに分かれ、各セッションはテーマ別のマイクロコンテンツで構成されています。プログラムを一括でも、セッション、テーマごとでも、柔軟に受講を進められます。

動画や写真、図表を駆使。インタラクティブパートも充実

視覚的な要素とナレーションを連動させて、プログラムへの理解をスムーズに。対話型の設問などを採用。受け身の学習に陥らない工夫も凝らしています。

学習の進行度を確認。最終テスト合格者に修了証を発行

各セッションには「ナレッジチェック」を配置して、押さえておきたいポイントを振り返ります。「ファイナルアセスメント」は全50問中、40問以上正解すると合格です。